## 今後の自動車単体騒音低減対策のあり方について(中間答申) (平成 20 年 12 月 18 日)に基づく今後の検討の進め方

### 1.マフラーの事前認証制度の現状

平成 20 年 12 月 18 日

中央環境審議会答申

平成 20 年 12 月 26 日

国土交通省による道路運送車両の保安基準関連法令改正

同日、登録性能等確認機関の申請受付開始

平成 21 年 4 月 28 日

(財)日本自動車研究所が登録性能等確認機関として登録(同月 30 日から業務開始)

平成 22 年 4 月 1 日

この日以降製作される自動車に装着されるマフラーは、マフラーの事前認証制度(或いはそれと同レベル)の基準に適合することが必要

#### 2. 中間答申において明示された検討課題

(1)試験方法を含めた騒音規制手法の見直し

試験方法	検討にあたっての考慮事項
加速走行騒音規制	・現在の走行実態、加速走行騒音の実態を
試験コースにおいて、加速ペダルを一杯	踏まえ、環境に悪影響を与えないことを前提
に踏込み通過した場合の騒音を測定	に国際基準調和を検討
<u>定常走行騒音規制</u>	・タイヤ単体規制導入について、現在の走行
試験コースにおいて、50km/h(車種によ	実態、定常走行騒音・タイヤ単体騒音の実態
って異なる)の一定速度で通過した場合の	及び規制導入の効果等を踏まえ検討
騒音を測定	・併せて、定常走行騒音規制廃止の可否につ
	いても検討
近接排気騒音規制	・相対値規制導入の可能性について検討
車両停止状態において、原動機の規定	
回転数からアクセルを急速に放した際の騒	
音を測定(試験コースは必要ない)	

- (2)マフラーの事前認証制度の見直し
  - ・交換用マフラーの認証取得状況(取得レベル等)のフォローアップ
  - ・その結果等を踏まえ、必要に応じ規制値等の見直しを検討

#### 3.スケジュール

- ・本年 6月 25日に自動車単体騒音専門委員会を開催し、今年度の検討を開始
- ・以降、調査結果の報告、審議を行いつつ、平成23年度を目途に答申に向けた結論

# 中央環境審議会騒音振動部会自動車単体騒音専門委員会名簿

区別	氏	名	所 属
専門委員長 (臨時委員)	はしもと	たけま	成蹊大学理工学部特別名誉教授
臨時委員	かねこ <b>金子</b>	しげひこ <b>成彦</b>	東京大学大学院工学系研究科教授
専門委員	石川	ひろとし <b>博敏</b>	警察庁科学警察研究所交通科学部長
II .	石濱	* * * 正男	神奈川工科大学創造工学部 自動車システム開発工学科教授
11	ましの 押野	康夫	(財)日本自動車研究所 エネルギ・環境研究部主席研究員
11	かまた 鎌田	ಕ್ಷಾ 実	東京大学高齢社会総合研究機構機構長、教授
11	ごとう <b>後藤</b>	<sub>しんいち</sub> 新一	(独)産業技術総合研究所 新燃料自動車技術研究センター長
11	たなか田中	*:htts <b>丈晴</b>	(独)交通安全環境研究所研究コーディネータ
11	サ野	<sup>みつぉ</sup> <b>光雄</b>	東京工科大学コンピュータサイエンス学部教授
11	なみかわ 並河	ましはる	国土交通省国土技術政策総合研究所 環境研究部道路環境研究室長
11	<sup>ひらまつ</sup> 平松	こうぞう 幸三	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授